

沖縄・終わらない戦後

大城弘明写真展

このたび沖縄県平和祈念資料館では、旧三和村出身で復帰前後から生まれ島を中心に戦争の爪あとの残る沖縄を撮り続けてきた写真家大城弘明氏の初めての生まれ島での写真展を開催します。

「復帰」前の1968年から72年まで琉球大学の学生だった大城氏は「沖縄問題」の最前線にカメラを片手に参加した。復帰闘争の写真も撮りながら、「自分の足元を見つめ直そうとナマリジマ（生まれ育ったふるさと）を撮り始めた。」という。「私が生まれた所は三和村福地（現在糸満市）という集落で、沖縄戦には三和村地域だけでわずか2週間の戦闘で7万7千人が亡くなっている。」氏が撮影し始めたころは、「沖縄戦からすでに25年もたっていたが、山野にはまだ遺骨があり、壕の中には日本兵の遺骨や、軍靴、ガスマスクなどが散乱していた。一家全滅の屋敷跡、弾痕が残る石垣など子どものころから見て、聞いて、



感じてきた『ふるさと』と写真で関わり始めた。」そのような戦後の光景がなくなったのはごく最近であるが、急速に記憶は風化していく。大城弘明のナマリジマとその周辺の光景を中心に米軍基地がまだ居座る沖縄の現実の写真を通して、沖縄の戦後を考えたいと思います。

展示構成

- 1章 地図にない村
- 2章 終わらない戦後



大城弘明プロフィール

1950年、沖縄本島最南端の三和村福地（現糸満市）に生まれる。琉球大学在学中（1968～72年）復帰闘争、全軍労、反基地闘争などを撮影。1973年、沖縄タイムス社に入社、写真部長などを務め、2010年定年退職、2011年横浜市日本新聞博物館で写真展開催。現在、同社嘱託。著書に写真集『地図にない村』など共著多数。



開催期間

2012年2月21日(火)～3月11日(日)

場所 | 沖縄県平和祈念資料館 [企画展示室]

入場無料

(企画展のみ)

交通案内

■ 沖縄県平和祈念資料館

【バス利用の場合】

1. 那覇(バスターミナル)→糸満(バスターミナル)線
バス番号：89番(20分に1便程度) 料金：560円(片道)
2. 乗継ぎ／糸満(バスターミナル)
→玉泉洞線(平和祈念堂入口下車)
バス番号：82番(1時間に1便程度) 料金：460円(片道)



沖縄県平和祈念資料館

〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614-1
TEL098-997-3844 FAX098-997-3947

Okinawa Prefectural
Peace Memorial Museum

HP <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>
Mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE